



2025年2月21日

各位

会社名 ZETA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 山崎 徳之
(コード番号：6031 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 森川和之
(TEL.03-5779-6250)

過年度決算の遡及訂正の概要、及び、中期経営計画の更新の予定、
並びに、当該訂正についての当社事業環境における影響についてのお知らせ

当社は、2025年2月4日付「抱合せ株式消滅差益計上の取消し、及び、過年度の決算の訂正の見込み、並びに2024年12月期決算発表延期のお知らせ」(以下「開示1」)、及び、2025年2月10日付「(開示事項の追加説明)「抱合せ株式消滅差益計上の取消し、及び、過年度の決算の訂正の見込み、並びに2024年12月期決算発表延期のお知らせ」についての追加説明に関するお知らせ」(以下「開示2」)にて公表いたしましたとおり、過年度の決算について、遡及して訂正をすることいたしました(以下「本訂正」)。訂正することとなる内容の概要について、下記の通り、あらかじめお知らせいたします。訂正内容の正確な開示は、2025年2月25日に開示する予定です。

また、2024年9月30日に公表いたしました中期経営計画の更新予定について、また本訂正による当社の事業環境への影響、及び、今後の取り組みについて説明をいたします。

記

1. 本訂正の経緯

当社は、開示1、及び、開示2にて公表いたしましたとおり、売上として計上するタイミングの見直しについて、監査法人アヴァンティアと誠実に協議を重ね、過年度の決算における訂正の方針について妥当と思われる内容について同意をいたしました。

具体的には、2023年6月期、2024年6月期の決算について、遡及して訂正を行うものです。訂正の内容は、当該決算において、ZETA CX シリーズ等のライセンス取引に関して、プロジェクトの長期化などにより入金サイトが長くなっているものの一部について、過去の決算における売上がいったん取消し、当該売上を、当該取消しをした期以降の決算期に改めて計上するという内容です。また、本訂正の方針は、直前期である2024年12月決算にも適用されます。

2. 訂正の数値の見込みについて

2023年6月期、及び、2024年6月期決算において、総額で520百万円の売上を取消することとなる見込みです。また2024年12月期決算においても、会計処理の変更前の方針で計上することが想定されていた売上のうち、一部の売上となる169百万円を取消することとなる見込みです。それに伴い、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益についても、2024年12月18日に開示致しました業績予想からの修正が発生致しますが、具体的な金額は精査中であり、2025年2月25日に開示する予定です。

当該の取り消された売上については、2025年12月期以降に、当該取消し売上の合計額として、689百万円が改めて計上されることとなります。また、2023年12月期以降における受注の総額には、本訂正による変更はありません。

3. 中期経営計画等の見直しについて

本訂正により、当社が2024年9月30日に発表している中期経営計画「Strive for 17 and beyond」への影響については引き続き精査し、定時株主総会開催日である2025年3月30日の前日までに新たな内容の公開をする予定ですが、現時点では2027年12月期において営業利益17億円を目指すという方針に、大幅な変更はない見込みです。

また2024年12月期の配当予想についても、現時点において変更はありません。

4. 本訂正による当社の事業環境への影響と今後の取り組み

本訂正は、顧客との取引を売上として計上するタイミングの見直しであり、当社の事業環境は引き続き好調である見通しです。一方で、受注した内容が売上として計上されるまでの期間が長期化するため、一時的に業績の伸びが会計上低くなる可能性があります。当社としては、入金サイト、及び、売掛金の管理をより強化し、好調な事業環境が売上に反映されるまでの期間を短縮する努力をします。加えて、証憑のみでなく、システムの稼働状況の確認等を行う体制等もさらに強化し、受注、納品、システムの稼働、売上計上、入金までの一連の業務プロセスの品質向上に全力を尽くしてまいります。

改めてこの度は、株主の皆様、投資家の皆様にご心配をお掛けしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

以上